

仕事が  
たのしい!

# みんなに信頼される、 現場監督を目指します

#20  
KOEDA MIKI

小枝美希

土木現場監督

株式会社田名部組土木部 土木プロフェッショナルグループ。  
青森県立八戸工業高等学校を卒業と同時に田名部組に入社。

DATA

株式会社 田名部組  
青森県八戸市石堂二丁目11-21  
tel. 0178-20-1414  
http://www.tanabugumi.co.jp/

## あきらめなければ「土木女子」になれる!

「入社して2年。まだひよっこですが、早く現場監督として一人前になれるようがんばりたいです」とはかむのは、総合建設業として土木建築一式を手掛ける田名部組土木部の小枝美希さん。会社初の女性現場監督を目指し、現在修行中の毎日です。

土木の仕事に就きたいと思ったのは中学生の頃。「暑い日も、寒い日も、懸命に道路工事する人の姿を見て、自分もやってみたい、何かみんなのためになる仕事に就きたいと八戸工業高校土木建築課の土木コースに入学しました」ときっかけを話します。

高校では幾つかの資格を取得。「就職活動を始めたとき、進路指導の先生に、土木女子を採用する企業は少ないから別の職種も考えたらと言われましたが、諦めきれずにいたら柔道部の先輩で女性建設技術者ネットワーク会議の会長を務める植村さんの紹介で田名部組を知り、受験することができました」



側溝に流すコンクリートの量を確認する小枝さん

## 仕事への一途な姿勢が、職場を明るく元気に!



と仕事をしていますよと報告するための書類の作成方法を、一級土木施工管理技士に教えてもらいながら頑張っています」

夏は真っ黒に日焼けしながら、冬は厳しい寒さに耐えながら経験値を高めている小枝さん。「始めからわかって臨んだ仕事ですが、夏は暑く、冬寒いのは、思ったより大変でした」と笑います。

重い材料を運ぶとき「いいいいいよ」と言われるけれど、「自分もできるのになあ」と思いながら過ごしている小枝さん。いつもにこにこ、へこたれず、仕事に向かう一途な姿勢は、男社会の現場で、より良い相乗効果を招いているそうです。

「田名部組は、仲間意識の強い会社。わからなくて動けないときは、立ってないで何かやれと言ってくれるし、困ったときは、みんなでフォローしてくれるんですよ」

## 自分と一緒に働きたいと思う現場監督に!

入社して半年間は、新入社員7人で会社を改善するチームに入り、会社のことを勉強。初めての土木の現場は、環状線の基礎工事だったそうです。「恥ずかしい話ですが、道路の下で、土が何層にもなっていることを初めて知りました。実際現場に行っても、これがほんとに道路になるのか? など、わからないことだらけでした」と打ち明けます。

次に経験したのは、道路を新設するために土の山を掘っていく「捨て土」作業。「重機オペレーターの補助となる仕事だったのですが、長年、この仕事をずっとやってきている人に、何回も指示するのは気を遣いました」と話します。

もともとある道路の拡幅、舗装工事では「道路はこうやってできるんだ」ということを理解することができたそうです。

当初は、監督と作業員の職種の違いさえもわからず入社したそうですが「土木作業も手伝いながら、設計通りにできるよう管理する監督の仕事を理解し、完成したところを写真に撮ったり、私たちは設計通りにきちん

家族は両親と弟の4人。「応援してくれています。私は仕事でストレスを感じないみたいなんです。今は仕事が楽しくて…」と言います。

休日は友だちとショッピングに出掛けることもあるそうですが、最近のお気に入り、アメリカ映画のキャラクターのグッズを集めること。「がんばっている姿が、ほんとうにかわいくテンションが上がるんです」と車の中にあふれるキャラクターグッズを見せてくれました。

「まずは早く一人前になれるよう努力を重ね、資格を取得し、一緒に働いている人が、また自分と一緒に働きたいと思うような監督になりたい」と爽やかな笑顔で話してくれました。



車の中には、大好きなキャラクターグッズがいっぱい

## ひとことメッセージ

株式会社 田名部組 田名部智之 社長



かつて土木と言うと、汚い危険と言われ、女性が現場で働くことはなかったのですが、近年は機械化も進み地図に残るカッコいい仕事をしています。パイオニアとしては大変だと思いますが、現場に女性がいて、これまであたり前と思っていたことに気づきを与える効果があります。当社では「サンクスカード」で社員同士の交流を図っているのですが、彼女の書き方には心が込もっていて貰った人はモチベーションが上がります。将来は技術者としてはもちろん、課長など指導する立場も見据え、自信をもって成長して欲しいです。